

問9-1 その他と答えられた方は、具体的に教えてください。

(「その他」の回答者以外の自由記載含む)

今の世の中親戚一同等集まる機会がなくなってると思います。
まず事業にまとまりや連携がなく、費用対効果がよくない。きちんと体系化すべき。その中で何に重点を置くべきか考えてほしい。
医療費の削減、井戸端会議のための通院等やめさせるよう指導
孤独の防止
免許返納の推進とその後の買い物、外出する支援
高齢者の方々が、元気で長生きするためにそのような活動に関わっている方への配慮をお願いします。私達もいつかはお世話になるかもしれない、福祉関係の方への給料アップを考えてもらえませんか。少子化も大事ですが、老人ホームで働いている方の給料アップや、福祉関係の方への手当て増額をする事により、高齢者もかかわっている人も気持ち良く毎日を過ごす事ができるのではないのでしょうか。
スクールバスで通学する廃校を利用した学びの学校があれば、朝早くから病院で集まってお話ししたりしないのではないのでしょうか？音楽とか美術とか習われていないのではないのでしょうか？
不要。自己責任。
在宅での生活を維持するための介護サービスについて、わかりやすくすることが大事だと思います。
社会に参加を積極的にできるように退職年齢の引き上げ 撤廃を考える
その方の趣味の継続や、それを生かしていくこと
年金の範囲で入る施設
できるだけ住み慣れた地域で暮らしていけるようなサポート
公共交通手段が少ない地域の高齢者は100円バスの巡回地域に比べ外出の機会を減らされているという格差が生じているので早期是正すべき問題
介護の大変さをしり、施設の有難さをしりました。施設で少しでも楽しく過ごしてくれることを願って生きがい、日々何か楽しみがあるといいなと思いました。
免許返納後の交通手段。バスがない所の方、検討していますが、なかなか進展していないのが実情です。誰がする？でまっています。
趣味、地域との繋がりが生きがいになると思います。
高齢者には貧富の差があるが、非課税と言われても多額の預金を持っていても非課税の扱い。これで良いのかと思う。なんだか納得できない。
なにもしない

同じ目線で お話し、声かけなど 会話をして たのしませてあげる
介護施設の普及、利用促進、介護について本人を含め、身内の意識づけ。介護についての情報（行政補助や施設）をもっとオープンにして欲しい。その時になって初めて知ることや、専門職に教えて貰って分かること等、たくさんあった。事前にネット等で調べるにも限度がある。その他のことは、本人次第。外野がいくら背中を押しても考えや行動について拒む人はいるし、受け入れる人は受け入れる。高齢者本人向けも大事かもしれないが、その高齢者を支える施設や人材への投資、特に福祉行政職員の増員・育成に力を入れる方が良いと思う。
1) 鳥取市人権施策基本方針第3次改訂にある17分野への理解とそこへ身近でできる事を協力しようという意欲を出してもらおう事。2) 他人にして貰うのではなく「何が自分で出来るか」を考え実行し続ける意欲を発揮してもらおう事を効果としたい。
シルバー人材センターなどで、社会の役に立ち続けること。町内の役員も75歳以上は免除してほしいとの声もあるが、時間がある高齢者こそ地域の中で進んで役を引き受けて欲しい。市報を配ったり、ゴミステーションの管理を担ってもらうことで、地域との関わりが続くし、見守りしやすい地域になると思う。
今後人口が急激に減り続ける、それを見越した施策、戦略的に縮む事が重要
空き家問題など、地域ではなく個人で対処しておくべき終活の助言
高齢者を支える介護士の生活改善が急務だと思います。給料を上げて人数を増やし、勤務体制を見直してあげてください。
お祝いもいいかもしれないけど、今困ってる人へ注力してはどうかと思う。バスやタクシーよりも便利な移動手段の確保。買い物の利便性。介護度の上限を超えてデイサービスを利用したい場合の差からの補助金(私は常勤で仕事をしているがデイサービス週4回。介護度を越えた部分は自費となり週5回行けず、置いていくのが不安。仕事を辞めるか迷うところ。)そうすると、働ける人の数も減るし……。
外出機会を増やす為には 交通機関の利用の支援が必要。
移動手段の充実
教育。「将来自分の親や祖父母が介護を必要とするようになる」ということを子供の頃から考える機会を与えていかなければいけないと思う。将来、自分の親の介護が必要になった時、介護施設の不足や人材不足により、親が希望する介護が受けられない可能性もあるということ…。小中高生で考える機会を定期的に設ければ、自分の親の近くに就職しよう…と思う子が増えるかもしれない。ひいては人口減にもつながるかもしれない。少子高齢化先進県として、取り組んではどうかと思う。
企業での介護休暇の充実。駐車場のヘルプマークが少ないところが多い。歩道がガタガタだったり狭かったりで車椅子が押しにくい。
介護予防のため、外出機会を増やし、話ができる人を増やすことが重要なので、軽い運動ができ、栄養管理が学べる健康教室をもっと多く開催し、呼びかけてください。
介護従事者の権利の保証
高齢者に限らず、弱者に対する福祉が進むようにと考えます。
子育て支援の一端を高齢者が担う事業の創設
金持ちだけが喜ぶ事業はもういない

健康な高齢者が安心して住めるマンションやアパートがない。見守りサービスがある賃貸高齢者住宅があれば、離れて暮らす高齢の両親を呼ぶ事ができるのと思います。健康に自信があり人様の世話にはなりたくない。ひとおりの生活は自分でできる高齢者は増えていく。しかし子どもからすれば心配の種は尽きない。仕事もあり一緒に住むのは無理でも、安心して健康な高齢者が気ままに暮らせる高齢者限定賃貸住宅があればいいと思います。
金銭的余裕
放置でいいと思う
何もしなくて良いです
お茶会
仕事への受け入れ体制
社会のルールやマナー等の高齢者の意識向上
歳とったら生きてる楽しみがなくなりそう
これだけの超高齢化なので、高齢者中心の街作りも
その人の人生の結果なので特に必要ない。周りの人が祝えば良い。子供にリソースを振って欲しい。
医療費削減
老人対象の大学
免許証を返しても住み易いまちづくり